

## 会 議 録

名 称	平成29年度 第3回目黒区男女平等・共同参画審議会
日 時	平成29年9月22日（金） 午後6時30分～7時30分
会 場	目黒区総合庁舎地下1階 第17会議室
出席者	（委員）神尾、小出、鹿野、山田、大本、片淵、 岩間、佐治、九頭竜、福田、松澤 （区側）人権政策課長、事務局
傍聴者	1名
資料	<p>【事前送付及び持参資料】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 目黒区男女平等・共同参画審議会 答申（案） <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">資料1</span></li> <li>2 平成28年度 男女平等・共同参画に関する事業実績報告（第2回審議会資料）</li> <li>3 平成29年度 男女平等・共同参画に関する区民意識調査報告（第2回審議会資料）</li> <li>4 平成27年度 男女平等・共同参画の推進に関する年次報告書</li> <li>5 目黒区男女平等・共同参画推進計画（平成28年度～平成32年度）</li> </ol>
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会</li> <li>2 平成28年度の事業評価・答申（案）について <ol style="list-style-type: none"> <li>（1）前回審議会の審議を踏まえた修正・追加箇所の確認</li> <li>（2）修正等の意見交換及びまとめ</li> </ol> </li> <li>3 閉会</li> </ol>
会議の結果及び主要な発言	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・傍聴の申出者について、委員に傍聴の可否を諮り、了承</li> </ul> </li> <li>2 平成28年度の事業評価・答申（案）について <ol style="list-style-type: none"> <li>（1）前回審議会の審議を踏まえた修正・追加箇所の確認 <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料1により、第3章、大項目1～3について各担当小委員から記載を修正した箇所を説明した。なお、第1～2章、大項目4は修正箇所が無いため説明なし。</li> <li>・本日の審議会で出された意見を踏まえた修正については、その内容を会長に一任する。</li> </ul> </li> <li>（2）修正等の意見交換及びまとめ <ul style="list-style-type: none"> <li>【第1～3章】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・意見なし</li> </ul> </li> <li>【大項目1】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">事業17</span>について、男女平等・共同参画センター（以下、センターと言う。）利用者懇談会と利用者交流会（同時開催）の参加人数が減少していると言及しているが、運営委員の参加人数は1人減ったが参加団体数</li> </ul> </li> </ul> </li> </ol> </li> </ol>

	<p>は減っていないので、減少とまでは言えないのではないか。 →各年度の参加人数のみに言及する内容に修正する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中項目 1－2 の評価の理由で、センターを利用している団体を「登録活動団体」「登録団体」の二つの名称で記載しているが、どちらも同じ団体のことを指しているのであれば、名称を揃えてはどうか。 →大項目 1 全体で、名称は「登録団体」に統一し修正する。</li> </ul> <p><b>【大項目 2】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中項目 2－1 の 2 つ目の提言で、男性の講座参加者を増やすために異なるイベントと協力してミニ講座や啓発活動を実施することなどを区に提案しているが、区の所管課として実際にそうしたことは実行可能なのか。 →人権政策課ではそうした実績はなく、もし実行すると企画段階から他の部署と連携を取り合うことが必要となる。難しい場合もあるが、実行できると良いと考える。</li> <li>・男性が講座に参加している写真を載せて募集をするなどの、男性が講座に申し込む心理的ハードルを下げる工夫をしてはどうか。</li> <li>・チラシに「男女でお誘いあわせください」などと書いてはどうか。</li> <li>・住区まつりの際に啓発してはどうか。</li> <li>・目黒シティランのスタート地点にブースを出してはどうか。</li> <li>・イベントでブースを設置するだけではなかなか人が来ないので、街角で啓発品を配布してはどうか。啓発品やノベルティを作る予算が無ければ、企業の寄付を募る方法もある。</li> <li>・住区センターの男性利用を増やすために、健康マージャンのイベントを開催したところ男性が多く参加してくれた。 →中項目 2－1 の 2 つ目の提言の説明は、2 行目後半からの記載を簡便にまとめ、男性が参加したくなるような地域の各種イベントで啓発活動を行うなどの工夫をすることを求める内容に修正する。</li> <li>・中項目 2－2 の分析欄の <b>事業 53</b> について、「地域保育事業」と記載があるのは「地域型保育事業」が正しい名称ではないか。 →指摘のとおりなので修正する。</li> </ul> <p><b>【大項目 3】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・区民意識調査の問 1 3 では「妊娠や出産をめぐる女性の健康と権利が尊重されていると思いますか」という表現で尋ねているが、この表現では出産後の職場復帰が妨げられたりマタハラを受けたりするなどのリプロダクティブ・ヘルス/ライツの侵害とは別の社会的な権利侵害までも「尊重されていない」理由として受け取られないだろうか。そのように誤解する人が多いとするとすると、問 1 3 で「尊重されている」と回答した人の割合 (51.4%) にも影響しているのではないか。</li> <li>・区民意識調査では問 1 2 でリプロダクティブ・ヘルス/ライツの注釈を読んでもらい、そこに記載された考えを踏まえて問 1 3 を回答するような順序となっているので、大きな誤解は無いのではないか。</li> </ul>
--	--

	<p>→区民意識調査のほかの設問でも、質問の意図をどのように捉えるかは回答者毎に異なるという点を踏まえれば、問13のみを変更することは好ましくないと考える。設問の尋ね方を変えてしまうと経年の変化が追えなくなってしまうこともあり、5年間に変更しない。</p> <p><b>【大項目4】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・区の男女平等・共同参画施策やセンターの認知度を上げていくには広報の方法を見直していくことが必要だと思うが、区は現在の広報体制についてどのような課題意識をもっているのか。この10年くらいで企業等の広報の手法は大きく変わってきている。テレビコマーシャル主体の宣伝方法が、インターネット上での広告掲載やSNSを使った情報の拡散にシフトしている。区はそうした変化から遅れているのではないかと。 →現在開催中の区議会でも区の広報に関する意見や質問がたくさん出ている。男女平等・共同参画施策についてのみならず、区全体の課題として捉えている。</li><li>・広報の手法を見直すのであれば、広告・広報マーケティングのコンサルタント会社からアドバイスをもらったほうが良い。NPO法人でも同様のアドバイスをしてくれるところはあるので、多額の費用をかけなくても見直すことはできる。</li><li>・目黒区には中目黒などおしゃれで人気の町があるので、SNSなどで情報を発信すれば注目を集めるポテンシャルはもっていると思う。</li></ul> <p><b>【今後の審議会の日程】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・任期中（平成30年5月31日まで）は審議会開催の予定はなし。開催の必要が生じた場合は、日程調整の上、開催の通知を送付する。</li></ul> <p><b>3 閉会</b></p> <p style="text-align: center;">以 上</p>
--	--